

（每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行）

縣報 第五百九號 明治卅八年十二月廿日 和歌山縣

○公文

○和歌山縣訓令第二十七號

郡 役 所
市 役 所
町 村 役 場

明治三十七八年戰役ニ參與セシ軍人及軍人以外ノ者ニシテ勳績申陳後行賞發表ニ至ル迄ノ異動報告手續ヲ本年十一月陸軍省達滿發第九一五一號（官報）ヲ以テ達セラレタル處在郷セ
ル現役豫備役及後備役ニアル軍人ハ陸軍服役條例若クハ兵籍規則ニ依リ各本籍所管ノ聯隊
區司令官ニ届出ノ義務ヲ有スルモ之ニ該當セサル國民兵役及兵役免除者ニアリテハ届出ノ
制規ナキニ依リ所管ノ聯隊區司令官ニ於テ之ヲ知ルノ途ナク爲當該本人ノ異動事項ヲ勳績
申陳ノ長官ニ通報スルヲ得ス支障紛ナカラサルニ付在郷セル國民兵役者及兵役免除者ニシ
テ本戰役ニ干與セシ者ハ行賞發表ニ至ル迄ノ内ニ於テ左記事項ニ該當スル者アルトキハ直
ニ本人又ハ親屬等ヨリ各本籍所管ノ聯隊區司令官ニ直接届出テシムヘシ
明治三十八年十二月廿五日
和歌山縣知事 伯爵 清 樓 家 敷

縣報第五百九號 明治三十八年十二月廿七日 第三種郵便物認可

- 一 官等、位、勳、爵ニ異動アリタルトキ
- 二 改氏名ノトキ
- 三 居住地（又ハ寄留地）ヲ變更シタルトキ
- 四 勳等視奪ノ處分ヲ受ケ若クハ其ノ處分ニ該當スル所爲アリタルトキ
但シ右ノ處分ヲ受ケタル者ハ該宣告書原本、其處分ニ該當スル所爲アリタル者ハ
其情狀具申書ヲ送付スルモノトス
- 五 所在不明トナリタルトキ又ハ所在不明者ノ所在不明トナリタルトキ
- 六 死没シタルトキ

○和歌山縣告示第二百九十一號

明治三十八年度和歌山縣歲出更正豫算府縣制第六十八條第二號ニ依リ縣參事會ノ議決ヲ經タル要領左ノ如シ

明治三十八年十二月廿六日

和歌山縣知事 伯爵 清 棧 家 敬

明治三十八年度和歌山縣歲出豫算中更正

(△印ハ朱書)

歳 出

經 常 部

第六款 衛生及病院費

△既定豫算金七千八百壹圓拾八錢八厘
更正豫算金壹萬七百八拾八圓六拾八錢八厘

第一項 衛生諸費

△既定豫算金五千九百參拾壹圓貳拾錢八厘
更正豫算金八千九百拾八圓七拾錢八厘

臨時部

第二款 傳染病豫防補助費

△既定豫算金七千八拾圓貳拾七錢七厘
更正豫算金四千九拾貳圓七拾七錢七厘

第一項 市町村費補助

△既定豫算金七千八拾圓貳拾七錢七厘
更正豫算金四千六拾貳圓七拾七錢七厘

○和歌山縣告示第二百九十二號

株式會社川崎造船所ノ製造ニ係ル艦艇及船舶竣工公試運轉施行ノ際ハ左記甲號ノ標信旗ヲ

照報第五百九號

明治三十八年十二月廿七日

第三種郵便物認可

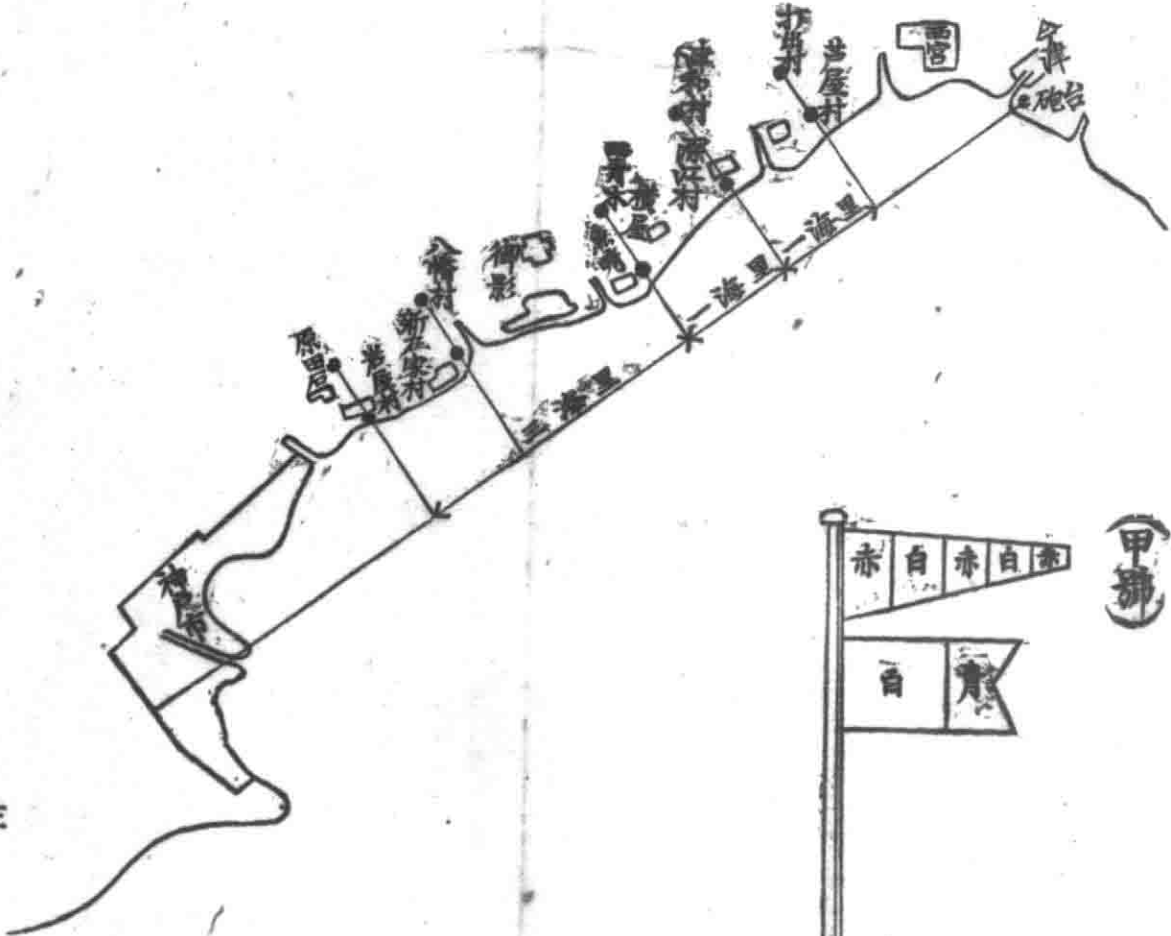
二

揚ケ乙號圖面ノ區域ニ於テ全速力ヲ以テ航走候條航行ノ船舶漁船ハ危險豫防上注意スヘシ

明治三十八年十二月廿七日

和歌山縣知事 伯爵 清 棧 家 敬

乙 跡



甲 跡



○觀測

明治三十八年十二月廿二日ヨリ三日間當地氣象概況

種別	十二月廿二日		十二月廿三日		十二月廿四日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七五九耗一	七六七耗四	七五九耗五	七七四耗二	七六二耗五	七七二耗六
平均氣溫	五度一	六度四	四度五	五度二	三度九	五度九
最高氣溫	八度〇	八度五	六度四	八度五	七度三	一四度五
最低氣溫	二度六	四度三	三度〇	冰点下〇度二	三度一	冰点下一度三
最多風向	東北東	北西	西北西	北東	北西	東
平均風力	三米二	六米四	七米七	四米一	六米〇	二米八
天氣	雨	曇少雨	半晴少雨	晴	曇又曇	晴
雨雪量	九耗一	〇耗一	〇耗二	〇耗三	〇耗三	霜及初水
記事	降雨斷續	午后微雨	午前六時	夜間降雨	時々曇降	

縣報第五百九號

明治三十八年十二月廿七日

第三種郵便物認可

四終

明治三十三年五月八日第三種郵便物認可

午前九時	四十五分	海上風雨	ノ警報到	着シ夕刻	海陸風雨	ノ警報着	電ス	月環現ル
〇リ午后	一時迄強	風吹ク	午前九時	三十五分	内陸風雨	ノ警戒ヲ	解キ夕刻	海上風雨
結霜	(但シ本	年初霜ニ	シテ前年	ニ比シ三	十五日間	遇シ)	現ル	
午後一時	四十分	夕刻海上	ノ夕刻迄	北西ノ強	風吹ク	報着電		

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

明治三十八年十二月廿六日即行

和歌山縣

和歌山縣

和歌山縣久保町一丁目一番地
和歌山縣久保町一丁目四番地
印刷所